

個人投資家様向け 会社説明資料

[証券コード 6504]

富士電機株式会社 2023年 2月



- 1.会社情報
- 2.事業概要
- 3.業績・中期経営計画
- 4.環境への取り組み
- 5.株主還元、社外評価



1.会社情報

会社基本情報



社 名 富士電機株式会社

設 立 1923(大正12)年8月

資本金 476億円

本 社 東京都品川区大崎

代表者 代表取締役会長CEO 北澤 通宏 代表取締役社長COO 近藤 史郎

連結子会社数 71社 (国内21社、海外50社) ※2022年3月末時点

連結従業員数 26,757名 (国内17,493名、海外9,264名) ※2022年3月末時点

役員 取締役 10名(内社外 4名)監査役 5名(内社外 3名)



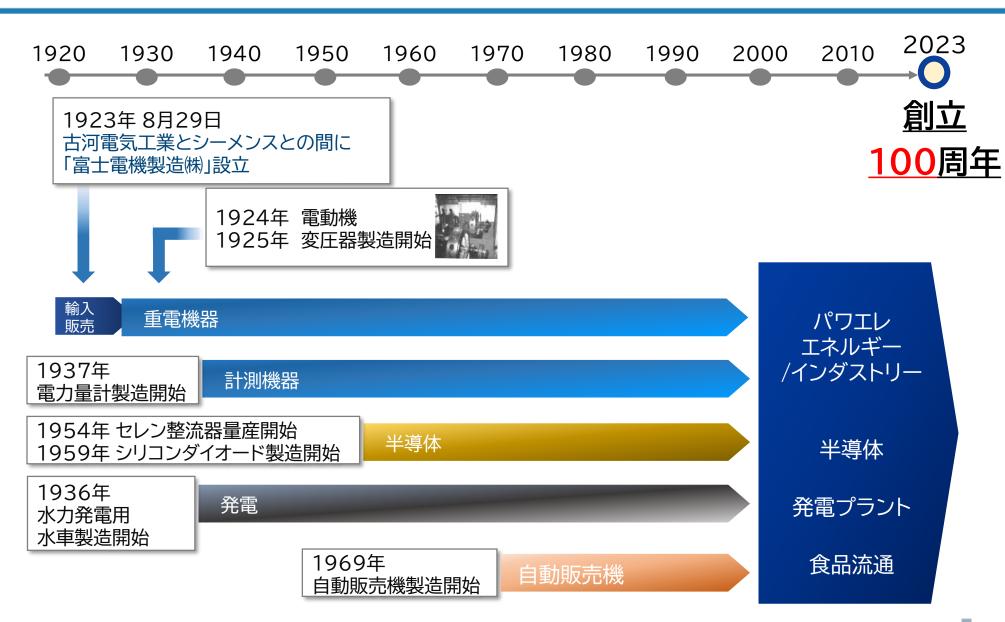
代表取締役会長CEO 北澤 通宏



代表取締役社長COO 近藤 史郎

富士電機の歴史







経営理念

富士電機は、地球社会の良き企業市民として、 地域、顧客、パートナーとの信頼関係を深め、 誠実にその使命を果たします。

■豊かさへの貢献 ■創造への挑戦 ■自然との調和 スローガン 熱く、高く、そして優しく

経営方針

- エネルギー・環境技術の革新により、
 安全・安心で持続可能な社会の実現に貢献します。
- 2. グローバルで事業を拡大し、成長する企業を目指します。
- 3. 多様な人材の意欲を尊重し、チームで総合力を発揮します。



企業行動基準

- 1. 人を大切にします
- 2. お客様を大切にします
- 3. お取引先様を大切にします
- 4. 株主・投資家を大切にします
- 5. 地球環境を大切にします
- 6. 社会への参画を大切にします
- 7. グローバル・コンプライアンスを最優先します
 - 7-1. コンプライアンスの徹底
 - 7-2. リスクマネジメントの徹底
- 8. 経営トップは本基準の実践を徹底します

富士電機が目指す姿とSDGs



経営理念・経営方針の実践により、 社会・環境課題の解決、お客様価値の創造を通じて SDGsの達成に貢献

SUSTAINABLE GALS DEVELOPMENT GALS





































社会・環境課題の解決

お客様価値の創造

経営理念

豊かさへの貢献

創造への挑戦

自然との調和

経営方針

エネルギー・環境事業

企業行動基準



2.事業概要

富士電機のエネルギー・環境事業



コア技術のパワー半導体とパワーエレクトロニクス技術による高品質な機器に、 制御技術を組合せたシステムにより、エネルギーの安定供給、省エネ、自動化を実現

クリーンなエネルギー

| エネルギーの安定供給

自動化

パワエレ

発電プラント



地熱発電



太陽光発電

エネルギー



マネジメント



変電 システム



施設 電源

インダストリー



ファクトリー オートメーション



プロセス オートメーション



ソリューション





自動販売機



店舗設備機器

システムソリューション

エンジニアリング・サービス



















半導体













パワーエレクトロニクス技術とは



パワーエレクトロニクス技術とは半導体を用いて電力を変換・制御する技術 電力を無駄なく変換・制御することで省エネを実現



パワーエレクトロニクス技術を 活用した機器



インバータ



無停電電源装置

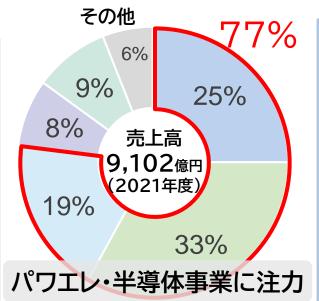


ハ。ワーコンディショナ

4事業5セグメント



食品流通 自販機 •店舗流通 国内・中国シェア 1位※ 冷凍・冷蔵ショーケース カウンター什器 自販機



半導体

SiCモジュール

パワエレ

エネルギー

- ・エネルギーマネジメント
- ・施設・電源システム
- ·器具



無停電電源装置 (UPS)

国内シェア※トップグループ

国内シェア 1位※



電磁開閉器

インダストリー

- ・オートメーション
- 社会ソリューション
- ·設備工事
- ・ITソリューション



プロセス制御システム

国内シェア 2位※



インバータ



鉄道車両用電機品

発電プラント

- 再生可能エネルギー
- ·火力
- ·原子力関連設備

世界シェア 1位※



地熱発電設備



太陽光発電システム



・産業

電装(自動車)

世界シェア 3位※

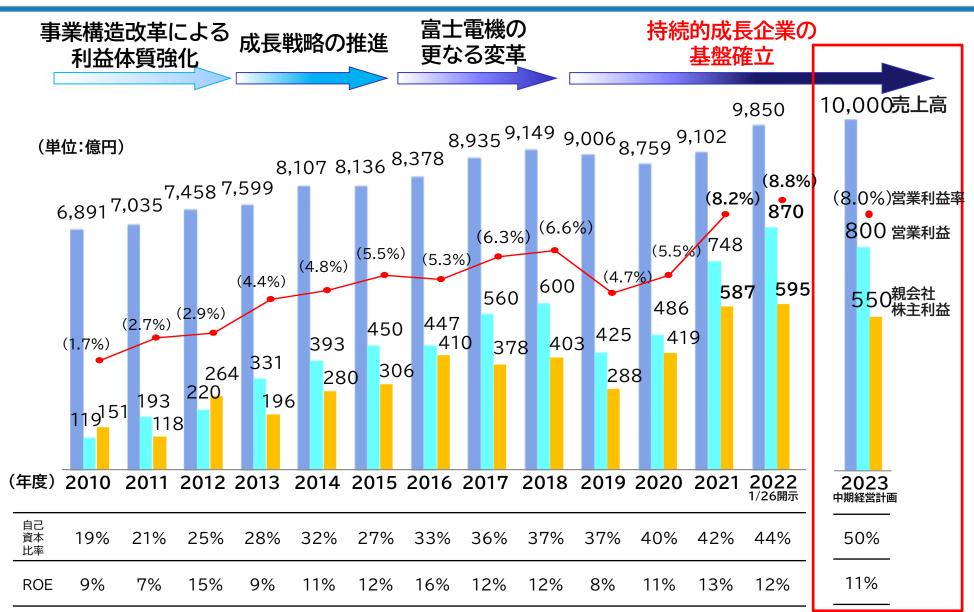
車載IGBT IPM IGBTモジュール

※シェアは2021年度実績。当社調べ。



3.業績・中期経営計画





2023年度中期経営計画(2019~2023年度)



持続的成長企業としての基盤確立

成長戦略の推進

- ・パワエレ、パワー半導体へのリソース傾注
- ・海外事業の拡大

収益力の更なる強化

グローバルでものつくり力強化

経営基盤の継続的な強化

- ・環境、社会、ガバナンスを中心とした 経営基盤の継続的な強化
- ・全社活動「Pro-7」の進化

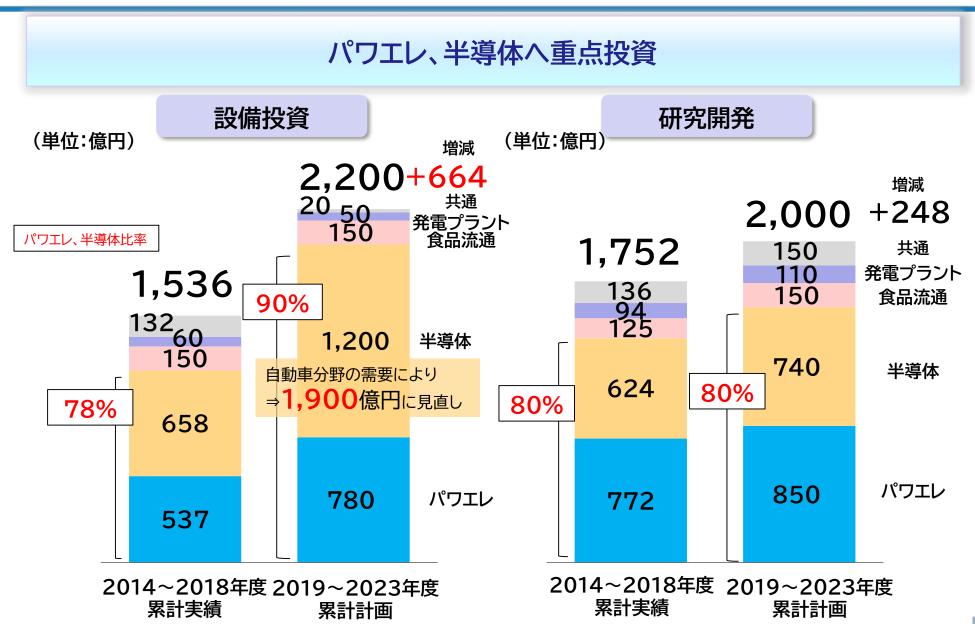
2023年度経営目標

売上高	1兆円
営業利益	800億円
営業利益率	8%以上
親会社株主に 帰属する 当期純利益	550億円

※前提為替レート: 105円/USドル、123円/EURO、 16円/RMB

成長分野へのリソース傾注







4.環境への取り組み

環境ビジョン2050



富士電機の革新的クリーンエネルギー技術・省エネ製品の普及拡大を通じ 「脱炭素社会」「循環型社会」「自然共生社会」の実現を目指します

脱炭素社会の実現

サプライチェーン全体でのカーボンニュートラルを目指します

循環型社会の実現

環境負荷ゼロを目指す グリーンサプライチェーンの構築と 3Rを推進します

自然共生社会の実現

企業活動により生物多様性に貢献し 生態系への影響ゼロを目指します

2030年度目標

産業革命前と比較した温度上昇を1.5℃に抑えるため、以下の目標達成を目指します。

●サプライチェーン全体の温室効果ガス排出量(Scope1+2+3)

46%超削減 [2019年度比]

●生産時の温室効果ガス排出量(Scope1+2)

46%超削減 [2019年度比]

●製品による社会のCO2削減貢献量

5,900万トン超/年

Scope1:事業者自らによる温室効果ガスの直接排出(燃料の燃焼、工業プロセス)

Scope2:他社から供給された電気、熱・蒸気の使用に伴う間接排出

Scope3:Scope1、Scope2以外の間接排出(事業者の活動に関連する他社の排出)

製品による社会のCO2削減貢献

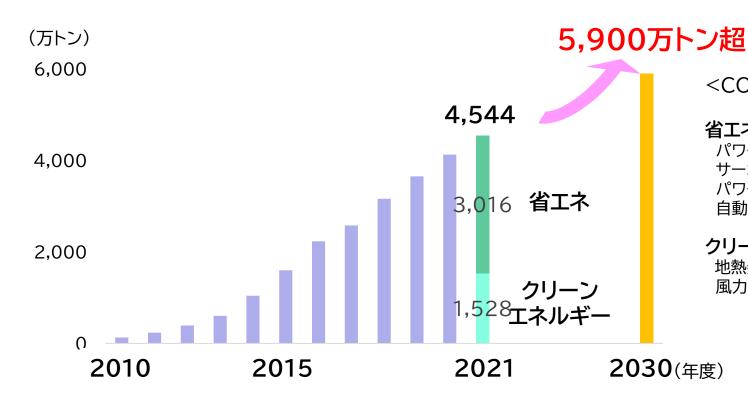


2030年度には全社合計で5,900万トン超の削減に貢献



【製品による社会のCO2削減貢献量】

(既存製品排出量-新製品排出量)×当年度売上台数



<CO2削減に貢献する製品例>

省エネ

パワー半導体、インバータ、モータ、 サーボシステム、変圧器、無停電電源装置、 パワーコンディショナ、鉄道車両用主変換装置、 自動販売機、冷凍・冷蔵ショーケース

クリーンエネルギー

地熱発電、水力発電、太陽光発電、 風力発電、燃料電池

温室効果ガス排出削減への貢献



エネルギーの供給サイドから需要サイドまで、 サプライチェーン全体の温室効果ガス排出削減に貢献

供給サイド

需要サイド

パワエレ

CO2削減貢献量

2,286万t CO2削減貢献量

625万t

発電プラント

1,528万t

クリーンエネルギー の主流化

エネルギー供給





受変電設備



エネルキ゛ーマネシ゛メントシステム



半導体

食品流通

インバータ



CO2削減貢献量

105万t

省エネ機器・

システムの普及



電化率

向上

雷動車向けパワー半導体



地熱発電

太陽光発電



ハ。ワーコンディショナ



無停電電源装置



パワー半導体



自動販売機

© 2023 Fuji Electric Co., Ltd. All rights reserved.



船舶向け電気推進システム

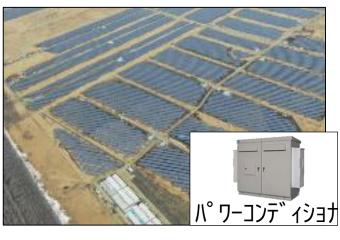
AIによるエネルギー需給の効率化・最適化

クリーンエネルギーの供給



高効率かつ環境にやさしいクリーンエネルギーの供給





地熱発電

世界シェア1位※1

- ・さまざまな温度、規模の熱源に 対応可能な提案力
- ・豊富な納入実績

水力発電

国内シェア3位

- ・さまざまな流量の水源に 対応可能な水車技術
- ・環境負荷の低減や信頼性向上 を実現する差別化商材

太陽光発電

国内シェア2位※2

- ・パワー半導体を活用した 高効率なパワーコンディショナ
- ・蓄電池を活用した出力安定化

※1:2000年以降の受注実績

※2:2012年FIT適用以降の産業用パワーコンディショナ500kW以上級出荷実績



小型かつ高効率な無停電電源装置で安定稼働を実現



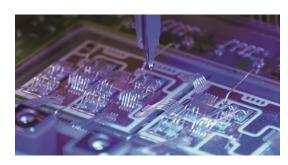
無停電電源装置

- ・業界最高クラスの 電力変換効率
- ・業界最小クラスの 設置面積

主な納入先

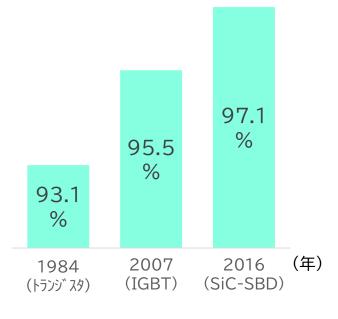


データセンター



半導体製造工場

無停電電源装置電力変換効率推移

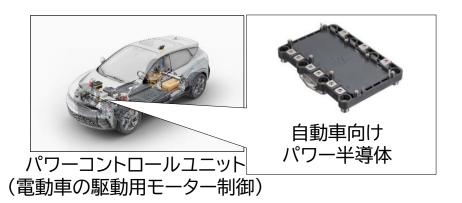


パワー半導体による省エネ



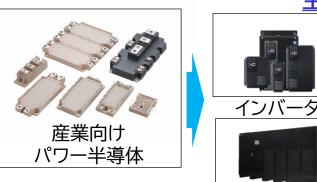
パワー半導体により省エネ、高効率化、小型化に貢献

自動車分野



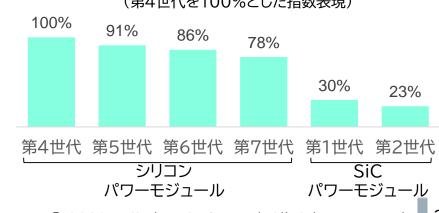
- ・シリコンの第7世代IGBTを中心に 自動車、産業の分野で売上拡大
- ・2025年度以降は次世代素材SiC を用いた半導体の自動車向け量産拡大

産業分野





インバータ駆動時の損失電力(第4世代を100%とした指数表現)



インバータによる省エネ



インバータによりモータの回転をコントロールし、省エネを実現

主な納入先

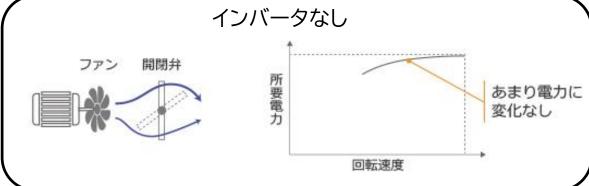




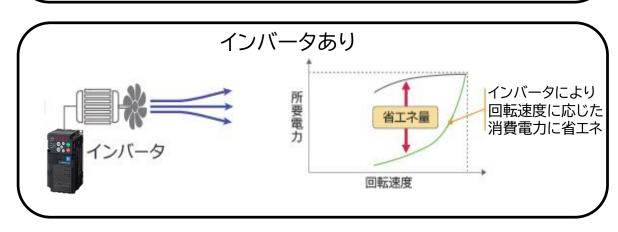


空調・ポンプ

インバータによる省エネの事例 【風量コントロール】



- ・世界の全電力量の40%~50% がモーターにより消費
- ・キーデバイスである パワー半導体を内製することで 省エネ性能を追求

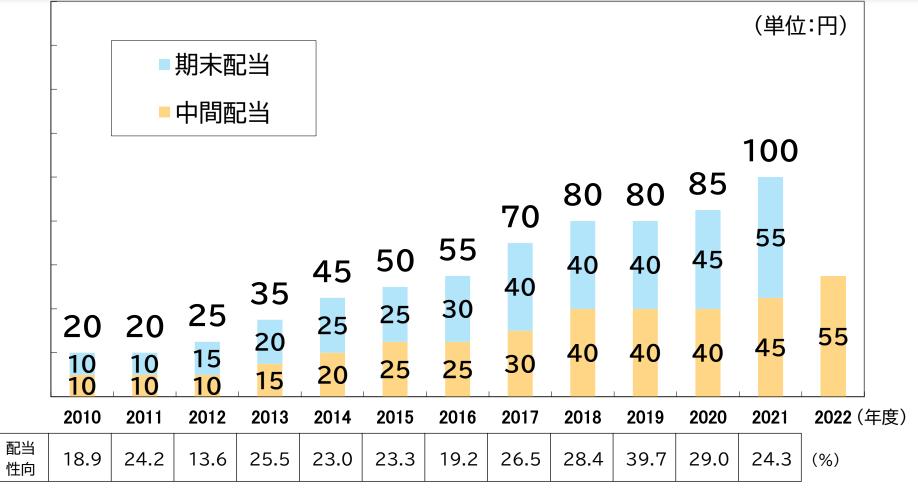




5.株主還元、社外評価



安定・継続を基本方針として 配当性向30%を目安に株主還元



株主様への発行物、イベント



株主様への発行物

富士電機の業績・事業状況について、 四半期ごとにレポートを発行。 年1回発行の富士電機レポート(統合報告書)では 当社の全容をご理解いただくことを目的として 長期的な企業価値向上に向けた取り組みや ESGの主要課題を紹介しています。



月 富士電機 2022

株主様向け四半期報告書

富士電機レポート

工場見学会

富士電機の企業活動について一層のご理解を いただくため、工場見学会を実施しています。 (応募者多数の場合は抽選) 2022年度実績:東京工場、三重工場



工場見学会の様子

株主優待

オリジナルカレンダーを進呈しています。 (応募者全員)



2023年版カレンダー

社外からの評価



ESGに関する評価

Member of

Dow Jones Sustainability Indices

Powered by the S&P Global CSA

社会的責任投資の世界的な株式指標である「ダウジョーンズ・サステナビリティ・インデックス(DJSI)」の構成銘柄Asia Pacificに、18年連続で選定。



環境・社会・ガバナンスのグローバル・スタンダードを満たす企業として、「FTSE4Goodインデックスシリーズ」の構成銘柄に7年連続で選定。



CLIMATE

気候変動に対する取り組みとその 情報開示により、環境分野で世界 的に権威のある「CDP Aリスト」 に4年連続で選定。

IR活動の評価

IRの趣旨を深く理解し、積極的に取り組み、市場関係者の高い支持を得るなどの優れた成果を挙げた企業として、

一般社団法人日本IR協議会が主催する「IR優良企業賞2022」において、IR優良企業賞を受賞。



IR Webサイトの評価

ウェブサイトの使いやすさや情報の充実度が評価され (株)ブロードバンドセキュリティの「Gomez IRサイトランキング」 で金賞を受賞。(3年連続)

大和IR(株)の「インターネットIR表彰」でも優良賞を受賞。









- 1. 本資料に含まれる予想値及び将来の見通しに関する記述・言明は、 弊社が現在入手可能な情報による判断及び仮定に基づいております。 その判断や仮定に内在する不確実性及び事業運営や内外の状況変化により、 実際に生じる結果が予測内容とは実質的に異なる可能性があり、弊社は、 将来予測に関するいかなる内容についても、その確実性を保証するもので はありません。
- 2. 本資料は、情報の提供を目的とするものであり、弊社の株式の売買を勧誘するものではありません。
- 3. 目的を問わず、本資料を無断で引用または複製することを禁じます。